

憧憬の故郷

(昭和五十年竊歌)

佐藤守君 作歌

関川哲夫君 作曲

一

「汝が故郷は何処にありや」
熱き血潮に身は溢れども
希望を胸に行方も知れず
朔風に身を寄せ漂泊い出でん

二

聳ゆるボプラは何をか象徴し
遙かな大地は何語るらん
渺茫の地に理想を秘めて
真摯の道を歩みゆかん

三

逍遙の詩静寂に透り
曠野を一人ゆく吾侪めば
日輪幽寂に手稲の端にて
朱に染まらん哉原始の森は

四

嗚呼寮友よ夕の瞑想
己身に嘆けども憂愁はやまず
白銀の季節寮舎に在りて
熱き心を語り明かせよ

五

光幽けき憧憬の故郷
霞静かに流れ渡りて
新緑にみる自然の黙示
北溟の大地は我が故郷か